



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 松田産業株式会社

コード番号 7456 URL <http://www.matsuda-sangvo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR部長

(氏名) 木下 敦視

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	45,014	4.8	968	4.0	1,222	14.0	790	10.6
27年3月期第1四半期	42,940	△0.4	931	△33.8	1,072	△22.6	714	△18.0

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 747百万円 (69.6%) 27年3月期第1四半期 440百万円 (△76.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	29.71	—
27年3月期第1四半期	26.81	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	71,725	51,577	71.9
27年3月期	73,427	51,176	69.7

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 51,575百万円 27年3月期 51,173百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		14.00	—	14.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 13円00銭 記念配当 1円00銭

28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 13円00銭 記念配当 1円00銭

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	88,000	0.4	2,400	19.4	2,600	12.2	1,750	12.1	65.79
通期	185,000	3.1	5,400	△0.2	5,800	△0.6	3,900	16.7	146.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	28,908,581 株	27年3月期	28,908,581 株
28年3月期1Q	2,309,083 株	27年3月期	2,308,999 株
28年3月期1Q	26,599,543 株	27年3月期1Q	26,651,997 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在手にしている情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	P. 3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 3
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 9
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 9
(セグメント情報等) .....	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善傾向にあり、個人消費にも持ち直しの兆しがみられるなど、緩やかな景気回復基調で推移しております。一方で、国内の物価上昇や中国経済をはじめとした海外景気の下振れ懸念など、景気の先行きには依然不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの貴金属関連事業においては、貴金属原料の確保、化成品等の製品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に鋭意取り組むとともに、海外の拠点の拡充にも積極的に取り組み、ベトナムの現地法人において貴金属製錬工場の建設を進めております。また、食品関連事業においても海外拠点の強化と顧客ニーズを捉えた商品の提供に取り組み、販売量の拡大に努めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高45,014百万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益968百万円（同4.0%増）、経常利益1,222百万円（同14.0%増）、親会社に帰属する四半期純利益は790百万円（同10.6%増）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### 貴金属関連事業

当事業の主力顧客である半導体・電子部品業界の生産状況は全体として緩やかな回復基調が続きましたが、写真感光材業界は依然として市場の縮小が継続し、当社グループの貴金属リサイクル及び産業廃棄物処理の取扱量は増加したものの、貴金属製品及び電子材料等の販売量は減少し、銀及び白金の価格下落もあり、全体としての売上高は前年同四半期に比べ減少しました。

これらの結果、当該事業の売上高は29,806百万円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益は655百万円（同0.8%増）となりました。

#### 食品関連事業

当事業を取り巻く状況は、国内の緩やかな景気回復感が続き、個人消費にも持ち直しの兆しがみられたものの、円安などによる原価高騰といった厳しい事業環境が依然続く中で、水産品、畜産品及び農産品ともに販売数量は増加し、価格の上昇もあり、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は15,225百万円（前年同四半期比17.6%増）、営業利益は312百万円（同11.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,701百万円減少し、71,725百万円となりました。これは主としてたな卸資産とその他流動資産の減少が売上債権の増加を上回ったことによるものです。

##### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,103百万円減少し、20,147百万円となりました。これは主として借入金及び未払法人税等の減少によるものです。

##### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ401百万円増加し、51,577百万円となりました。これは主として期末配当金の支払いによる減少を親会社に帰属する四半期純利益による増加が上回ったことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ350百万円増加し6,212百万円となりました。

（営業活動のキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は1,919百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益、たな卸資産の減少及びその他流動資産の減少による資金の増加と、売上債権の増加及び法人税等の支払いによる資金の減少の差引によるものです。なお、前年同四半期の1,800百万円の資金の減少に比べ3,719百万円増加しました。

（投資活動のキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は126百万円となりました。これは主として工場設備の新設・更新等の有形固定資産取得によるものです。なお、前年同四半期の1,195百万円の支出に比べ1,069百万円の支出減少となりました。

（財務活動のキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における財務活動により減少した資金は1,417百万円となりました。これは主に借入金返済と配当金の支払いによるものです。なお、前年同四半期の1,742百万円の資金の増加に比べ3,159百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、前回発表時（平成27年5月11日）の業績見直しを変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありませぬ。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,003	6,353
受取手形及び売掛金	19,218	20,761
商品及び製品	16,576	15,513
仕掛品	309	283
原材料及び貯蔵品	6,667	6,104
繰延税金資産	485	310
未収入金	653	664
その他	3,501	1,678
貸倒引当金	△41	△10
流動資産合計	53,374	51,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,870	7,846
減価償却累計額	△4,096	△4,145
建物及び構築物(純額)	3,773	3,701
機械装置及び運搬具	7,199	7,191
減価償却累計額	△5,115	△5,251
機械装置及び運搬具(純額)	2,083	1,940
土地	7,852	7,827
リース資産	150	157
減価償却累計額	△60	△69
リース資産(純額)	89	88
建設仮勘定	419	463
その他	1,047	1,051
減価償却累計額	△772	△787
その他(純額)	274	263
有形固定資産合計	14,494	14,284
無形固定資産		
その他	188	190
無形固定資産合計	188	190
投資その他の資産		
投資有価証券	3,911	4,125
その他	1,605	1,537
貸倒引当金	△147	△70
投資その他の資産合計	5,369	5,591
固定資産合計	20,052	20,067
資産合計	73,427	71,725

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,922	8,322
短期借入金	3,582	2,769
1年内返済予定の長期借入金	1,298	1,273
リース債務	33	34
未払法人税等	1,401	247
賞与引当金	627	379
未払金	856	554
その他	2,779	2,926
流動負債合計	18,502	16,508
固定負債		
長期借入金	2,546	2,321
リース債務	56	54
役員退職慰労引当金	599	603
退職給付に係る負債	113	115
繰延税金負債	408	512
その他	24	31
固定負債合計	3,748	3,639
負債合計	22,250	20,147
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	43,942	44,386
自己株式	△2,621	△2,621
株主資本合計	48,888	49,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	543	570
繰延ヘッジ損益	△79	△31
為替換算調整勘定	1,798	1,699
退職給付に係る調整累計額	22	3
その他の包括利益累計額合計	2,285	2,242
非支配株主持分	2	2
純資産合計	51,176	51,577
負債純資産合計	73,427	71,725

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	42,940	45,014
売上原価	39,138	40,966
売上総利益	3,802	4,048
販売費及び一般管理費	2,870	3,079
営業利益	931	968
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	9	10
持分法による投資利益	135	177
仕入割引	4	3
受取家賃	15	1
補助金収入	2	53
為替差益	-	2
その他	14	35
営業外収益合計	182	286
営業外費用		
支払利息	10	11
為替差損	3	-
賃貸収入原価	19	-
固定資産除却損	1	12
その他	8	8
営業外費用合計	42	32
経常利益	1,072	1,222
税金等調整前四半期純利益	1,072	1,222
法人税、住民税及び事業税	210	172
法人税等調整額	147	259
法人税等合計	358	431
四半期純利益	713	790
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	714	790



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	713	790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	27
繰延ヘッジ損益	△236	47
為替換算調整勘定	△68	△95
退職給付に係る調整額	1	△19
持分法適用会社に対する持分相当額	△28	△3
その他の包括利益合計	△272	△43
四半期包括利益	440	747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	441	747
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,072	1,222
減価償却費	328	287
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△107
賞与引当金の増減額(△は減少)	△262	△248
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△32	△26
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△42	4
受取利息及び受取配当金	△10	△11
支払利息	10	11
持分法による投資損益(△は益)	△135	△177
売上債権の増減額(△は増加)	△1,911	△1,542
未収入金の増減額(△は増加)	154	△17
たな卸資産の増減額(△は増加)	△873	1,635
仕入債務の増減額(△は減少)	△173	396
未払金の増減額(△は減少)	△51	△352
その他	608	2,157
小計	△1,317	3,230
利息及び配当金の受取額	10	12
利息の支払額	△10	△11
法人税等の支払額	△482	△1,312
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,800	1,919
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,178	△86
無形固定資産の取得による支出	△6	△16
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	△9	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,195	△126
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,349	△813
長期借入金の返済による支出	△180	△249
自己株式の取得による支出	△94	△0
配当金の支払額	△320	△345
その他	△11	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,742	△1,417
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	△24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,293	350
現金及び現金同等物の期首残高	6,798	5,861
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,504	6,212

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,012	12,928	42,940	—	42,940
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	17	18	△18	—
計	30,013	12,946	42,959	△18	42,940
セグメント利益	650	280	931	—	931

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,805	15,209	45,014	—	45,014
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	15	16	△16	—
計	29,806	15,225	45,031	△16	45,014
セグメント利益	655	312	968	—	968

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。